



(一社)日本養鶏協会第69回定時総会開催される

6月28日(木)に「第69回定時総会」が東京都内のベルサール秋葉原で開催され多数の会員の方々にご出席いただきました。どうもありがとうございました。

齋藤会長挨拶の後、来賓として内閣官房参与 西川公也先生、農林水産省生産局畜産部畜産振興課 伏見課長及び(公社)中央畜産会 近藤常務理事よりご挨拶をいただきました。

その後、杉原筆頭副会長を議長に選出し、平成29年度事業報告、平成30年度事業計画及び収支予算が報告された後、下記の第1号議案から第6号議案について審議がなされ、原案通り可決されました。

第1号議案 平成29年度計算書類等に関する件

(公益目的支出計画実施報告を含む)

第2号議案 会計監査人を再任しないことに関する件

第3号議案 前専務理事への退職慰労金の支払いに関する件

第4号議案 役員退職慰労金会規制定に関する件

第5号議案 平成30年度会費の賦課及び徴収方法に関する件

第6号議案 定款の一部変更(第46条関係)に関する件



齋藤会長



西川公也先生

当日の出席状況(※)は、

総議決権数：657

出席者数：150

有効委任状数：399 となります。

(※)委任状の精査を行った結果、定足数の確認を行った時点での確報値。





平成30年度鶏卵規格取引研修会開催について

中央鶏卵規格取引協議会
事務局

1 目的

鶏卵規格取引要綱（平成12年12月1日付け農林水産事務次官通知）第5の5（鶏卵規格取引の格付け責任者及びその指導を行う者）に基づく資格取得研修会を開催し、規格取引の円滑な推進に資することを目的としています。

2 受講者資格と受講者定員

1) 受講資格者

鶏卵生産者、生産者団体職員、鶏卵出荷者、荷受業者、加工業者、都道府県担当職員、その他鶏卵の取り扱いに関係のある方。

2) 受講定員 (1) 東京会場 95名 (2) 京都会場 70名

3 受講申込み

1) 申込み方法

受講希望者は、[申込書](#)<下線部をクリックすると研修会申込書が開きます>に受講希望地（東京会場、京都会場）、受講者氏名等を記入し、お申込み下さい。（FAXでも可能です。FAX番号は次ページ「問合わせ先」です。）

なお、受講費納入用の振込取扱票はそれぞれの会場の申込み締切後に送付致しますので、早急な振込みをお願い致します。

2) 申込み期限

(1) 東京会場 平成30年8月24日（金）

(2) 京都会場 平成30年9月7日（金）

3) 送付先

〒104-0033 東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館
（一社）日本養鶏協会内
中央鶏卵規格取引協議会事務局 あて

なお、受講者が定員に達し次第、受講申込み期限前であっても締切りますので早めにお申込み下さい。



日鶏協ニュース

平成30年7月号
一般社団法人 日本養鶏協会

4 開催日程と会場

1) 東京会場

平成30年9月14日(金) 10:00~16:20(予定)
馬事畜産会館2F会議室
(一社)日本養鶏協会(TEL:03-3297-5515)
東京都中央区新川2-6-16

2) 京都会場

平成30年9月28日(金) 10:00~16:20(予定)
京都リサーチパーク東地区1号館4F AV会議室
会館事務局(TEL:075-322-7888)
京都市下京区中堂寺南町134

※ 問合せ先 (一社)日本養鶏協会

TEL 03-3297-5515 担当 井ノ口・田淵

FAX 03-3297-5519

5 研修会内容

1) 研修内容(仮題)

- (1) 鶏卵を巡る情勢について
- (2) 鶏卵のサステナビリティについて
- (3) 「GPセンターの衛生管理」安全な鶏卵の生産と供給のために
- (4) 食品表示法・基準の概要、栄養成分表示のポイント
- (5) 鶏卵の表示に関する決まり

2) 講師

農林水産省食肉鶏卵課、近畿農政局生産部畜産課、消費者庁食品表示企画課、
消費者庁表示対策課、中央鶏卵規格取引協議会会員役員等



6 研修会受講費

研修会受講費は、1人当たり20,000円（テキスト、昼食費、修了証書等を含む。）を受講申込み送付先まで振込取扱票にて納入をお願い致します。

受講費納入が確認された後、葉書で受講票を送付しますので、当日持参して下さい。

なお、納入された受講費の返却については、東京会場、京都会場の研修会開催日の1週間前までに受講できない旨のお申し出があれば返却致します。それ以降については理由を問わず返却致しませんのでご了承下さい。

7 修了証書

研修を完全に受講した方には、受講修了証書を当日研修会終了後、会場にて授与致します。

8 その他

- 1) 「受講者の宿泊については、斡旋できませんので、各自お手配くださるようお願い致します。
- 2) 受講申込等について（一社）日本養鶏協会のホームページに掲載していますのでご利用下さい。

なお、本情報については[日本養鶏協会](#)ホームページ・トップページの

中央鶏卵規格取引協議会
(鶏卵規格取引研修会開催)

バナーからもご覧になれます。

鶏卵規格取引研修会受講申込書URL

<https://www.jpa.or.jp/news/item/2017/0726/h30moushikomi.pdf>





成鶏更新・空舎延長事業の適正な実施について

成鶏更新・空舎延長事業については、「日鶏協速報」にてお知らせしましたように、平成30年6月26日の鶏卵の標準取引価格(日ごと)が安定基準価格(163円/kg)を上回ったことから、前日の平成30年6月25日をもって成鶏更新・空舎延長事業の対象となる成鶏の出荷期間が終了となりました。なお、上回った日の前日の平成30年6月25日までに、食鳥処理を「平成30年度成鶏更新・空舎延長事業参加に係る成鶏の出荷計画申込書(別紙3)」により申し込んでいる成鶏については、安定基準価格を上回った日(平成30年6月26日)から起算して30日後(平成30年7月25日)までに出荷を完了する必要があります。

また、成鶏更新・空舎延長事業への参加にあたっては、平成30年4月23日付け日鶏30発第60号にてお送りした「平成30年度成鶏更新・空舎延長事業についてのご案内」を再度ご確認ください、本事業の適正な実施をお願いします。特に、奨励金交付後、報告書類の審査及び現地確認において、60日以上空舎期間や雛の再導入等要件を満たしていない場合には、奨励金を返還いただくこととなりますので、十分にご留意ください。

配合飼料供給価格の動向

全国農業協同組合連合会(JA全農)は、平成30年7～9月期の農家向け配合飼料供給価格について、外国為替の円安に加え、とうもろこしのシカゴ定期や大豆粕価格が値上がりしていることなどから、平成30年4～6月期に対し、全国全畜種総平均トンあたり約1,550円値上げすることを決定し、公表しました。

平成30年1～3月期以降、3期連続の値上げとなりました。

なお、改定額は、地域別・畜種別・銘柄別に異なります。

単位(円/トン当たり)

	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
平成30年	↑1,500	↑1,100	↑1,550	—
平成29年	↑1,950	↑700	▼1,100	▼400
平成28年	▼700	▼3,700	▼800	▼1,650
平成27年	↑2,550	▼750	▼1,800	据え置き

出典：全国農業協同組合連合会(JA全農)「配合飼料供給価格」





鶏卵公正取引協議会「第9回通常総会」開催される

6月26日(火)、東京都馬事畜産会館にて鶏卵公正取引協議会「第9回通常総会」が開催され、彦坂会長挨拶の後、来賓として消費者庁表示対策課 猪俣課長補佐及び農林水産省生産局畜産部食肉鶏卵課 伊藤課長補佐よりご挨拶をいただきました。

総会では、以下の議案について審議され全て原案の通り可決されました。

- 議案 : 第1号議案 平成29年度事業報告、収支決算及び財産目録に関する件
- 第2号議案 平成30年度事業計画及び収支予算に関する件
- 第3号議案 平成30年度会費の賦課、徴収方法及び手数料に関する件
- 第4号議案 役員を選任に関する件

【選任された役員の方々】

(敬称略 五十音順)

会 長	彦 坂 誠	全国養鶏経営者会議	副会長
副 会 長	馬 場 昭 人	(一社)日本卵業協会	会長
専務理事	中 林 政 義	日本養鶏農業協同組合連合会	代表理事会長
理 事	秋 田 正 吾	(一社)日本養鶏協会	副会長
理 事	大 塚 誠 司	全国飲用牛乳公正取引協議会	常任委員・事務局長
理 事	小 林 清 美	全国地域婦人団体連絡協議会	理事
理 事	坂 本 修 三	(一社)日本養鶏協会	副会長
理 事	鈴 木 明 久	大分県養鶏協会	理事
理 事	高 橋 龍 彦	全国農業協同組合連合会	畜産総合対策部 次長
理 事	都 丸 高 志	(一社)日本養鶏協会	副会長
理 事	林 共 和	全国養鶏経営者会議	監事
理 事	松 井 均	滋賀県養鶏協会	理事
監 事	磯ヶ谷 正 徳	栃木県養鶏協会	会長
監 事	庄 司 幸 男	(一社)日本卵業協会	専務理事





卵に関する新刊紹介

前作マンガでわかる！シリーズ「もっと卵を食べて健康になろう！」は累計7万部を超えて売れ続けており、続編の要望にお応えして第2弾「**長生きしたければ卵をしっかりと食べなさい**」が7月に刊行予定です！

前作の内容をさらに掘り下げ、「完全食」卵の健康効果を詳しく解説します。高齢化社会を迎え、健康長寿の大敵であるコレステロール値・糖尿病・ロコモティブシンドローム・認知症などに対抗するための強い味方である卵の魅力を余すところなく伝えます。

早稲田大学ナノ・ライフ創新研究機構

規範科学総合研究所ヘルスフード科学部門（研究院教授） 矢澤一良／監修

■判型：A5判（中綴じ）24ページ

■定価：本体400円（税別）

（部数により変動がありますので、下記にお問い合わせください。）

お問合せ：株現代書林 商品管理部

TEL：03-3205-8384

〒162-0053 東京都新宿区原町3-6-1 桂ビル





協会活動報告

[青字下線部クリックで、\(一社\)日本養鶏協会ホームページ内
該当事業のページが開きます](#)

(1) 鶏卵生産者経営安定対策事業

① 価格差補填事業の事業参加者との契約数量 (トン/月当たり)

平成27年度	161,936
平成28年度	164,846
平成29年度	162,353
平成30年度	169,171

② 6月の標準取引価格 160.74 円/Kg

(補てん価格 19.800 円)

平成30年度補填基準価格 185 円/Kg

平成30年度安定基準価格 163 円/Kg

(2) 畜産物輸出特別支援事業 (鶏卵輸出部会)



鶏卵輸出部会「第4回通常総会」開催される

6月14日(木)、馬事畜産会館にて鶏卵輸出部会「第4回通常総会」が開催され、赤木会長挨拶の後、来賓として農林水産省生産局畜産部食肉鶏卵課 伊藤課長補佐、農林水産省消費・安全局動物衛生課栗栖課長補佐及び日本畜産産物輸出促進協議会 菱沼理事よりご挨拶をいただきました。

総会では、以下の議案について審議され全て原案の通り可決されました。

- 議案 : 第1号議案 平成29年度事業報告及び収支決算に関する件
 第2号議案 平成30年度事業計画案に関する件
 第3号議案 平成30年度収支予算案に関する件





日鶏協ニュース

平成30年7月号
一般社団法人 日本養鶏協会

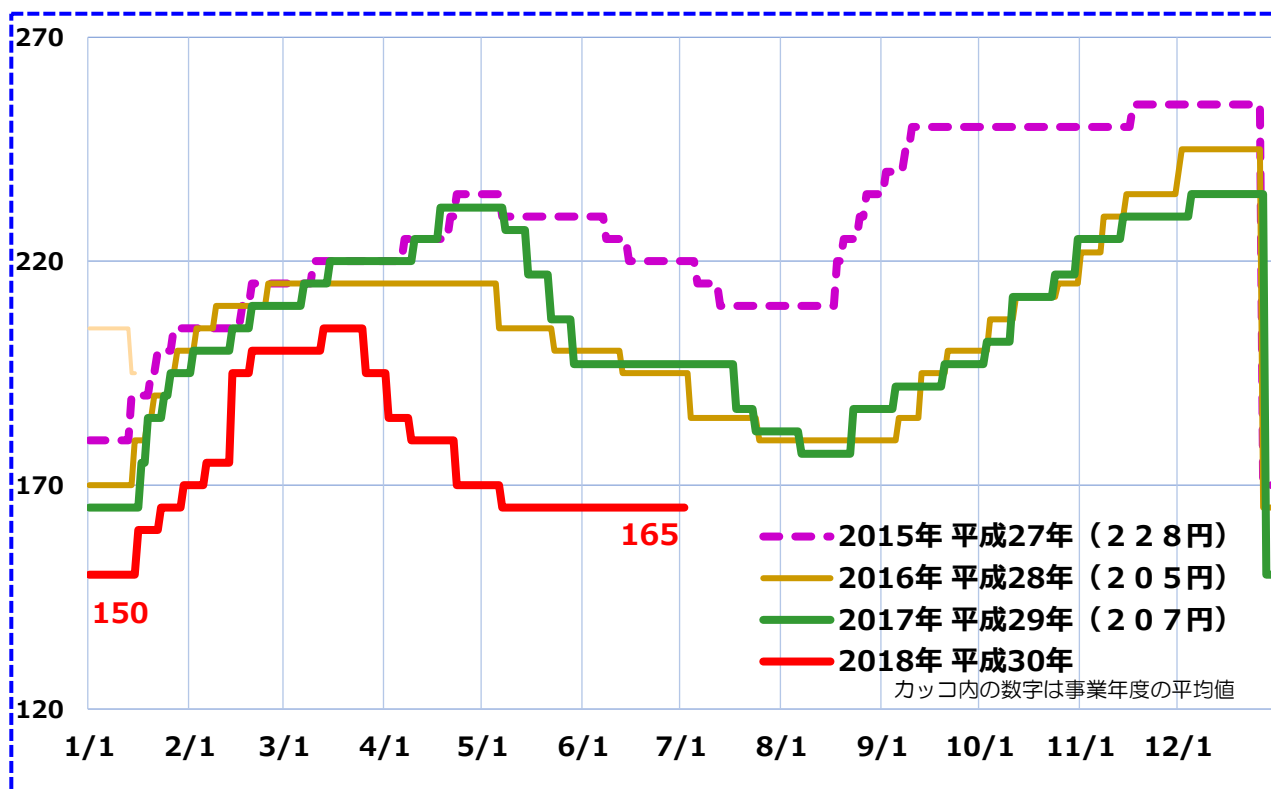
統計データ

【相場動向】 過去10年間の6月相場<Mサイズ>

	平均値	高値	安値
平成21年	160	178	154
平成22年	183	208	169
平成23年	190	223	179
平成24年	161	183	154
平成25年	155	178	147
平成26年	199	218	189
平成27年	223	248	214
平成28年	197	218	189
平成29年	197	215	191
平成30年	165	183	159
平均値	183	205	175

平成30年6月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）は、平均値は165円、高値は183円、安値は159円といずれも過去10年間の平均値よりも下回り、平成25年以来の低い相場となっています。

【鶏卵相場推移 2015年～2018年 事業年度 東京全農Mサイズ 円/Kg】



6月の鶏卵相場は、5月7日以降165円を横ばいで推移しており、平成29年度の197円と比べ32円安い相場となりました。



【鶏卵関係主要計数】平成30年4月までの1年間の主要計数推移

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
			成鶏用		一人当たり		東京全農M	
	数量(千羽)	前年比	数量(千ト)	前年比	数量(グラム)	前年比	前年	本年
29年 5月	9,029	96.1%	497	106.6%	890	100.1%	204	216
6月	9,759	105.8%	474	102.1%	843	97.2%	197	197
7月	9,889	104.2%	455	103.2%	866	100.2%	184	191
8月	8,339	98.4%	466	102.3%	849	104.6%	180	182
9月	9,014	98.1%	566	103.9%	858	101.3%	192	194
10月	9,225	100.9%	487	104.2%	910	100.2%	211	211
11月	9,519	107.7%	494	102.9%	899	102.8%	231	228
12月	9,081	98.6%	536	102.1%	936	103.0%	245	234
30年 1月	9,387	101.2%	477	103.9%	889	104.6%	179	159
2月	9,034	109.1%	461	102.7%	862	102.2%	204	189
3月	9,940	102.0%	522	101.7%	896	102.3%	217	201
4月	9,503	104.3%	477	101.8%	885	97.6%	227	179
1年間合計 平均(%)	111,719	102.2%	5,912	103.1%	10,583	101.3%	206 (平均)	198 (平均)

- ・雛餌付羽数は、前年同月比4.3%増の950万羽となり4ヶ月連続で前年を上回り、年間でも前年比2.2%上回って推移しています。
- ・配合飼料出荷量は、48万トンと前年同月比を1.8%上回り、年間でも前年比3.1%上回って推移しています。
- ・鶏卵の家計消費量は、885グラムと平成29年6月以来10ヶ月ぶりに前年同月比を2.4%下回りましたが、年間では前年比1.3%増と堅調に推移しています。
- ・これらの統計では、供給サイドでの大きな落ち込みも無く、家計消費などの需要も堅調な展開となっていますが、4月下旬には成鶏更新・空舎延長事業が発動したことに加え、例年梅雨入りから秋口にかけては家計消費が低迷する傾向にあることから、今後の動向を注視する必要があります。

【日鶏協ニュース】 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内（5階）

TEL：(03)3297-5515 FAX：(03)3297-5519 発行日 2018年7月2日

編集・発行責任者：小田上浩史(info@jpa.or.jp)

